



祝辞を述べる枚方市寝屋川市防火協会連絡協議会古川会長（設立5周年記念式典にて）

# 会報 防災だより

2013  
VOL.11  
9月30日発行

## CONTENTS

1. ご挨拶 ..... 会長 大黒裕明 2P
2. 八戸地域防災協会 設立5周年記念事業 ..... 2P
3. 予防課職員紹介 ..... 3P
4. 平成25年度 定時総会開催 ..... 4P
5. 第5回 防災意見発表会 ..... 4P
6. 平成25年度 事業計画 ..... 5P
7. 新規事業所紹介 ..... 5P
8. 防火管理に関する資格取得講習会開催 ..... 5P
9. 第36回 少年消防クラブリーダー研修会（後援） ..... 6P
10. 平成25年 広域圏内の火災概況（上半期）及び階上町林野火災の概要 ..... 6P
11. 「まちなか防災広場inはっち」（後援） ..... 7P
12. 京都府福知山市花火大会での露天火災事故を受けての消防本部の対応 ..... 7P
13. 趣味をもとう ..... 中村光志 8P
14. 会員事業所紹介コーナー ..... 桃川株式会社 8P

題字揮毫 大黒会長



## ご挨拶

八戸地域防災協会  
会長 大黒 裕明

日頃は当協会の活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。防災だより11号をお届けします。

とても印象的で、そう言えばあちらは猛暑の上に豪雨に祟られ、さぞ御苦勞なされたのではないかとご推察申し上げます。

今年の夏は皆様のご協力を頂いて設立5周年の式典を挙行することができました。「もうそんなになるのか」と私は感慨に耽りながらも楽しいひと時を過ごしたのですが、皆さまはいかがでしたでしょうか。またその際、当会の姉妹団体である大阪の枚方市寝屋川市防火協会連絡協議会の方々にもおいで頂いて交流を深め、式典のあとご一緒に三社大祭を見物することもできました。本号にはその時の記録も掲載しておりますのでご覧ください。ご一行を三沢空港にお迎えした時、「涼しいですね」と口を揃えて言っておられたのが

さて、本年度は年初から林野火災が多発し、階上や南郷の方々にはご心配が絶えなかったのではないのでしょうか。しかもその原因が放火である可能性が限りなく高いと言うのですから呆れてしまいました。警備や巡回に当たられた消防団や警察その他多くの方に敬意を表します。私たちはさらに活動を強め、防火・防災の意識を高めるよう努力しなければならぬと痛感いたしました。

上岳の姿は本当に美しく、先人たちの活動に感謝するとともに、拙作の協会の歌にありますように「この賑わいを失くしてなるものか」と、現在と未来は私たちの手で守っていくことを皆さまとお誓いしたいと存じます。

世界に目を転じると、シリアで紛争が起こり、再び中東に不穏な風が吹き荒れています。あの地帯が乱れると石油類を始めとする多くの地下資源や物資の供給が不安定になり、我が国にも多大な影響が出てまいります。供給不安が社会不安となり、混乱が起こると災害の発生にも繋がりがかねません。そのような事態にならないよう、只々祈るしかないのが菌痒い限りです。せめて、鷹揚に構え、多少のことには動じないよう心を引き締めたいと存じます。

今後とも、当協会の活動にご理解・ご指導・ご協力をお願い申し上げます。

去る8月2日(金)、八戸パークホテル1階マグノリアホールに於いて、「八戸地域防災協会設立5周年記念式典」が盛大に執り行われました。

当協会の前身である八戸地域広域防火管理者協会が、昭和60年から友好姉妹関係を結び交流している枚方市寝屋川市防火協会連絡協議会から19名の来賓をはじめ、多数の来賓、会員のご出席をいた



## 八戸地域防災協会 設立5周年記念事業

きました。

式典に先立ち、「八戸地域防災協会の歌」を音楽講師の坂本利枝子様からご披露いただいた後、大黒会長の式辞、来賓・主催者役員の紹介、来賓祝辞では八戸地域広域市町村圏事務組合管理者(八戸市長)、枚方市寝屋川市防火協会連絡協議会の古川会長のお二方から祝辞をいただきました。

続いて感謝状・表彰状の贈呈が行われました。(受賞者は次のとおり)

・ 感謝状贈呈  
・ 故 苦米地 吉友 様 (元副会長)

・ 佐藤 丘 様 (元副会長)

・ 鈴木 啓悦 様 (元理事)

・ 八戸電気工事業協同組合 様 (事業協力)

・ 協同組合八戸管工事協会 様 (事業協力)

・ (株)ユアテック八戸営業所 様 (事業協力)

### 「表彰状贈呈」

・ 中野 喜代芽 様

(永年役員・現理事)



式典の最後には、5周年記念事業として八戸地域女性消防クラブ協議会へクラブ員用の半纏150着の寄贈があり、大黒会長が山内和子会長へ半纏を着せる際に会場から大きな拍手が起りました。



式典後は、第二部として祝賀会が執り行われました。荘厳な雰囲気であった第一部の式典とは打って変わり、神楽の披露、アトラクションとして防火虎舞、八戸地域の歌として八戸小唄、南部俵積み

唄などの披露で大いに盛り上がり、出席者同士の親睦を深めることが出来たようでした。



枚方市寝屋川市防火協会連絡協議会の方々とは視察研修も兼ねており、2日目は東日本大震災の被災状況視察として、協会加入事業所である三菱製紙㈱八戸工場で被災時の映像を踏まえての研修、震災後の防災体制の説明を受けた後、昨年、枚方市寝屋川市防火協会連絡協議会からいただいた見舞金を活用して製作した「津波浸水高表示板」設置箇所を見学し津波の到達点を確認しました。夕方からは場所を変え、当地方を代表する祭りである三社大祭を観覧し、一日を終えました。

3日目は消防本部の見学、枚方市・寝屋川市防火協会創立60周年



記念式典に記念品として贈呈した国宝「合掌土偶」レプリカの故郷である是川縄文館を見学し、その後、八食センターを経由、全日程を終えられ大阪への帰路へつかれました。

今回の事業行程には、当協会役員が同行したことにより、両協会の役員相互の懇親が深まり、さらに協会としての友好親善も深めることができたと感じました。



## 予防課 職員紹介

今年度、当協会事務局のある消防本部予防課職員は、次のとおりです。

田端 民夫（課長）  
橋本 広功（課長補佐）  
齋藤 明  
（副参事兼設備指導班長）  
川守田和彦  
（副参事兼保安調査班長）

◎田中 真（設備指導班主査）  
田沢 孝之（設備指導班主査）  
賣井坂常幸（保安調査班）  
佐々木隆行（保安調査班）  
岸 祐也（設備指導班）  
深沢 栄悦（予防査察担当）  
四戸 一保（予防査察担当）  
◎齋藤 智美（協会職員）

今後とも、よろしくお願ひします。

※ ◎は、事務局担当

平成25年度  
定時総会開催



去る5月22日(水)、八戸パークホテル2階メイプルホールに於いて、会員10名出席のもと、「平成25年度 八戸地域防災協会 総会」が開催されました。

総会では、大黒会長が議長を務め、事務局から平成24年度の事業結果報告及び収支決算報告がなされました。

続いて、今年度の事業計画及び収支予算とともに、今年度実施さ



れる特別行事「協会設立5周年記念行事」特別会計収支予算の説明がなされ、全ての議案が原案どおり承認・可決されました。

また、総会後には会場をマグノリアホールに移し、多くの来賓を招待して懇談会が行われ、盛会裏に終了しました。



第5回  
防災意見発表会

定時総会に先立って、「第5回 防災意見発表会」が八戸パークホテル1階マグノリアホールにおいて開催されました。

会員87名が会場入りした中、会員事業所から2名、高校少年消防クラブ、消防団員、消防職員など、計5名の方が防災に関する発表を行いました。

終了後には、小向消防長から「事前に知識を備えておくことで、被害を大

幅に軽減させる可能性は大きいと考えております。発表いただいた方々は、職場はもちろん、地域の安全のために、今後一層「防災の手段」を広げて行ってほしいと思います。また、本日、ここにお集まりの皆様が、今日発表された内容を今後の防災活動に活かし、さらに職場や地域に防災意識を広げてくださることをご期待申し上げます。」との講評をいただきました。

防災士講習を  
おえて



大蔵工業株式会社  
木村 寿徳さん

地元五戸町では消防団員でもある木村さんは、昨年度八戸市において開催された講座を受講され、災害が発生した時に本当に生死を分けるのは、普段からの準備・心構えであり、瞬時の対応がいかに重要であるかを痛感させられたそうです。今後は災害に対する「備え」が必要であり、「防災士」としてそれを担い、各ボランティアと協力して防災の手段を広げて行

きたいとの意気込みを発表していただきました。

防災士養成講座を  
受講して



ナノコウ電気  
有限会社 庭 啓介さん

庭さんも地元八戸市において消防団員として活動されており、木村さんと同じく昨年度防災士の講座を終えられました。今回の養成講座で学んだ様々な知識や体験を「防災士」として地域の防災力及び職場の防災意識の向上に役立

「人の命を救う」  
ということ



千葉学園高等学校  
川畑 文乃さん

川畑さんは、昨年1年間、新たに学校に設立された消防クラブの活動を通じて、それまであまり考えることのなかった「命の重み」

てて行きたいとのことでした。また、防災関係の仕事がされていない方々にも、防災士の存在を知ってほしいと提言されました。

について理解を深めることができ  
たそうです。また、救命講習の講  
師になることができる、応急手当  
普及員の講習を受けたことによ  
り、命を守るための知識や技術を  
身に着けることができたため、「多  
くの人に応急手当の技術を伝えて  
いくことができる」という自信が生  
まれた。」との発表でした。

## 私達が 伝えたい事



五戸町消防団女性班  
田中さなえさん

広域でも数少ない女性消防団員  
である田中さんからは、地元の五  
戸高校少年消防クラブの指導者と  
して出席した、全国少年消防クラ  
ブ活性化推進会議で学ばれた貴重  
なお話を伺いました。  
その中の一つに、アメリカでは子  
供たちに対し、火遊びを何度注意  
してもだめなら火災になったあと  
の対処方法を教えるというプログ  
ラムがあるそうですが、田中さん  
たちは、このプログラムを幼稚園  
等で使用し、対処法を指導してお

られるとのことでした。

## 防災参観日の すすめ



八戸東消防署 消防副士長  
古川 信哉さん

消防職員である古川副士長から  
は、学校で行われる防災教育を「参  
観日」と位置付けることで、教師  
と保護者、また自主防災組織の会  
員、消防団員や消防職員も参加で  
き、地域全体で避難する体制を整  
えていくことができる、という提  
言がありました。  
震災から月日が経つてくると、ど  
うしてもその恐怖は薄れがちに  
なってきます。このような提言を  
受けて実践できれば、災害に対し  
て非常に効果的と考えます。

## 平成25年度 事業計画

- 1 災害時要援護者支援事業
  - (1) 住宅用火災警報器寄贈設置
  - (2) 電気・水道、燃焼器具設備等  
の点検修理
- 2 防火防災思想普及事業
  - (1) 火災予防運動用ポスター作製  
及び配布
  - (2) 各種防火チラシ作製及び配布
- 3 研修
  - (1) 消防設備等の研修
  - (2) 各種施設等の見学
  - (3) 講演会の開催
  - (4) 消火訓練の実施及び各種訓練  
への参加
  - (5) 救命講習の実施
  - (6) 防災士の養成
- 4 機関紙の発行
- 5 消防関係資格取得講習会等の  
後援及び情報提供
  - (1) 防火管理者新規講習会の後援  
及び実施の周知
  - (2) 甲種防火管理再講習の後援
  - (3) 消防設備士試験、事前講習会  
等の情報提供
- 6 幼年・少年・女性消防クラブ  
の育成援助
- 7 加入促進事業の推進
- 8 住宅防火防災推進シンポジウ  
ム in 八戸の後援

## 平成25年度加入 新規事業所 紹介

- 2部会
  - ・あ・ビル
  - ・(有)和光
  - ・合資会社 伊吉書院
  - ・東和ハウジング(株)
  - ・(株)・マリアージュ
  - ・フィッシングベスタタックル
- 3部会
  - ・高木クリニック
- 4部会
  - ・さえずりの森保育園
  - ・階上町立階上小学校
- 5部会
  - ・(有)北日本紙器
- 7部会
  - ・新和生活館
- 三戸部会
  - ・有料老人ホーム いちばん星
  - ・複合産地直売所 ファームヴィ  
レッジなんぶ

平成25年9月1日現在  
総会員数942事業所

## 防火管理に関する 講習会開催(後援)

371名が資格取得



平成25年度の防火管理に関する  
講習会は、消防本部の研修室に於  
いて6月19日・20日の2日間と7  
月9日・10日の2日間の2回、開  
催されました。

消防法により、一定規模以上の  
防火対象物は、防火管理の資格を  
有する者を防火管理者として定め  
ることとなっており、本講習会は  
その資格を取得するためのもの  
で、八戸地域広域市町村圏事務組  
合消防本部が主催、後援として当  
協会がお手伝いし、毎年開催され  
ているものです。

今回の講習会では、甲種防火管  
理講習35名、乙種防火管理講習16  
名、計31名の方々が新たに資格を  
取得されました。新たに防火管理  
の資格を習得された方々には、こ  
れからも防火管理体制の充実、強  
化にご尽力されますようお願いい  
たします。

第36回  
少年消防クラブ  
リーダー研修会  
開催  
(後援)



今年も「種差少年自然の家」に於いて、7月22日(月)から2泊3日の日程で実施された研修会には、各少年消防クラブから60名のクラブ員が参加しました。  
今年で36回を数えるこの研修会は昭和53年から始まり、今回を含め2,351名のリーダーを輩出しています。  
防災意識を育む目的で実施しているこの研修は、各々がリーダーとしての協調性や指導力を身につけるため、火災予防に関する防災講話や、レスキュー体験を行い、厳しいルールの中、初めて会った仲間たちと寝食を共にしました。



当協会は、目的に賛同し後援しており、北向副会長から励ましの言葉とともに、記念品として少年消防クラブのシンボルマーク入りアポロキャップと文房具を贈呈しました。

## 平成25年 上半期広域圏内の火災概況

(1月1日～6月30日)

【△は減少】

平成25年上半期中における火災の発生状況は、総出火件数が116件で、前年同期と比べ54件増加となっている。  
火災種別は、建物火災38件(前年同期比2件増)、林野火災20件(同17件増)、車両火災6件(同1件増)、その他の火災52件(同34件増)となっている。  
死者は5人で前年同期と同数、負傷者は12人で5人減少し、り災世帯は32世帯で、り災人員は75人となっている。  
火災の損害額は、1億6,600万5千円で、前年に比べ7,696万8千円増となっている。

区 分	平成25年上半期 (A)	平成24上半期 (B)	増減 (A) - (B)	
総 出 火 件 数	116	62	54	
火 災 種 別	建 物	38	36	2
	林 野	20	3	17
	車 両	6	5	1
	船 舶			
	航 空 機			
そ の 他	52	18	34	
焼 損 棟 数	(棟) 60	58	2	
建物焼損面積	(㎡) 4,137	2,720	1,417	
林野焼損面積	(a) 1,186	116	1,070	
死 者	(人) 5	5		
負 傷 者	(人) 12	17	△5	
り 災 世 帯	32	29	3	
り 災 人 員	(人) 75	75		
損 害 額	(千円) 166,005	89,037	76,968	

### 階上町連続不審火火災

4月上旬から約二ヶ月間、不審火は毎週のように発生した。「三陸復興国立公園」に指定されたばかりの階上岳にも被害は及び、階上町や八戸市南郷区で起きた不審火火災は、計24件となった。これらの火災による焼損面積は890a、焼損樹木本数は約12,000本、損害額は3,189万6千円、消防警戒出動車両は、延べ829台、延べ人員は、2,824人となった。  
このような莫大な被害と住民に不安を与えた放火は今も昔も重罪である。未だ、犯人は逮捕されていないため、一日も早い解決を望む。



去る9月1日(日)、「防災の日」に合わせ八戸市中心街で行われたイベントに、当協会も協力、大黒会長が来賓として出席しました。消防、防災業務への理解を深め

てもらったことを目的に、八戸市防災安全部と消防本部が共催したもので、ポータルミュージアムはっちを使用した災害想定訓練や、各種体験コーナーを設けるなど、災害対応や防災への理解をもとめました。

中心街を2時間歩行者天国にして行った幼年消防クラブ員による「ミニポンプ車操法」や、消防団員による「梯子乗り」、はっちと消防署合同の本番さながらの総合訓練には、沿道から大きな声援が



あがっていました。はっち屋内では、幼年消防クラブによる図画の展示やアトラクションが披露され、子どもたちの演技に大いに盛り上がりました。



早朝、雨天であったにも関わらず多くの来場者があり、親子連れを中心に幅広い層への防災意識の高揚が図れたものと考えます。



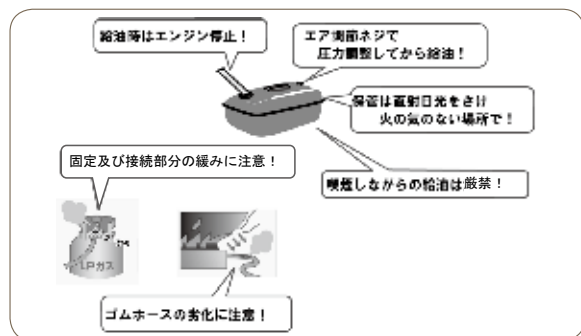
## 花火大会の 火災事故を受けての 消防本部の対応(対策)

みなさんもお承知のとおり、去る8月15日(木)京都府福知山市での花火大会において、多数の死傷者を出した事故があり、これを受けて消防本部では文書・チラシ等を作成、配付しながら以下の対応をとりました。

- (1)露天商等の出店(屋台等)に対する火気取扱いの注意喚起
- (2)給油取扱所に対するガソリン等給油に関する諸注意
- (3)学校及び幼稚園・保育園等で開催するバザー等に対する防火指導

### ●防火対策のポイント●

- ①燃料を給油するときは必ずエンジンを止める。
- ②給油の際は火気使用禁止、静電気除去に努める。
- ③携行缶の保管場所は火の気が無く直射日光の当たらない場所にする。
- ④ガスボンベのゴムホースに劣化がある場合は交換する。
- ⑤ゴムホース接続部分の緩みやゴムホースを取り外す時のバルブの閉め忘れに注意する。
- ⑥ガスボンベは容易に転倒しないようにする。
- ⑦避難経路を確保する。



# 趣味をもと

No.9

## 秘密酒場

(スピーク・イージー)

室岡整形外科病院 総務課長

中村光志



自分にとって「趣味」とは一体何なんだろう？ 改めて問いかけてみると、すんなりと答えが出てきません。自分の中であえて定義づけすると「好きなこと」や「楽しいこと」が「趣味」なのでしょう。思えば、今までさんざん好きなこ

とをやってきました。楽しかったな。春から秋にかけての溪流釣り。夜明けとともに川に入り、暗くなるまで釣り三昧。雨にも負けず、風にも負けず、飯も食わず、忘れた頃の給水のみ。川の流れを読み、細い糸で狙い通りにヤマメを引き抜いた時のよろこび！ 控えられませんが、川に入っている時は、魚を釣ることしか考えていません。腹も減らないのです。川を上ると放心状態。春と秋、冬は磯へ！ コマセ撒いてのウキフカセ釣り。狙いは黒鯛。八戸は黒鯛の影が薄いので、ちよつと寂しいですね。最近、海の状況が変わってきているので、そのうち南方系の魚が釣れるようになるかもしれませんね。いいことや悪いことや。パソコンの自作に熱中した時期もありました。今はもう熱は冷めてしまいましたが、昔と違い、今は自作するよりメーカー製品を買った方が安いのです。つまらない世の中になってしまったな。自分の頭の中でスペックを決め、好みの部品を集め試行錯誤しながらオンリーワンの1台を仕上げます。今まででデスクトップPCを4台程作りました。現役で動いているのは2台です。1台は春に東京へ進学した長男に持たせてやりました。MADE IN 八戸の東京進出です。ちよつと古めのノートPCのパワーアップも楽しいです

よ。分解してCPUを換装してやると生まれ変わります。5〜6年前の機種、捨てるのもつたいないですよ。気の知れた仲間と馬鹿言いながら酒を飲むのも好きですが、40才を過ぎたあたりに自分だけの秘密酒場(スピーク・イージー)を持つことが出来ました。色気抜きの、あまり混んでいない、気の利いたじいさん(マスター)の経営する静かな店です。職場でもない、自宅でもない、第3の場所。今はこの自分だけの秘密酒場で、世間話をしながラスを傾けるのが一番の楽しみです。男は誰でも一軒ぐらいい心底馴染の飲屋(秘密酒場)を持つべきだ！と昔先輩に言われたことを思い出します。自分は若い頃は、カウンター式の飲屋には入れませんでした。無内容な会話のやり取りに対して、変な自意識があったのでしょうか。いつのまにか自分もいいオヤジ(年頃?)になつてしまったのかな？

「趣味がない人は可哀想だ！」とか、「趣味がない人は何が楽しくて生きているの？」だとか言う人もいます。そんなこと、言わないうようにしましょうよ。趣味がない人は、生きている「事こそが、楽しい」のでしょから。さあ、家へ帰ってネコさんと遊ぼう！ 今日自宅楽しい晩酌だ！

## 会員事業所紹介コーナー⑨



### 桃川株式会社

所在地：青森県上北郡おいらせ町上明堂112  
TEL:0178(52)2241 FAX:0178(52)3145  
<http://www.momokawa.co.jp>

「いい酒は朝が知っている」のキャッチコピーでお馴染みの桃川株式会社です。

桃川の発祥は江戸時代末期に始まり、1889年(明治22年)に村井倉松が製造権を継承し、村井酒造店を設立、清酒「桃川」の製造販売が開始しました。1944年(昭和19年)戦時立法の企業整備令により青森県上北郡・下北郡二つの群下の製造業者が企業合併し二北酒造株式会社を設立。合併当時は、13業者で辛酸の時代を経て桃川以下4つの銘柄が残り、1984年(昭和59年)桃川以外各蔵を新会社として二北酒造株式会社より独立分散させ、「桃川株式会社」と改称し現在に至っております。

「桃川」の名前の由来は、創業当時、百石川(奥入瀬川)の水を使用していたことから、「百」を果物の「桃」に代えて「桃川(ももかわ)」と名付けられました。桃川は、123年の歴史の中で、常に「品質第一」をモットーに、小泉社氏(青森マイスター)と一級酒造技能士の蔵人との連携により、丹精込めて醸し出された酒はキメの細かい上品な口当たりの酒をじっくりと御賞味頂きたい。

桃川の三大銘柄は、コクの「桃川」、キレの「ねぶた」、うま味の「杉玉」で、その販売量は、県内トップです。予約をすれば、蔵見学ができます。桃川は今年も、おかげさまで各種鑑評会において次の成績を収める事ができました。

- ・平成25年 全国新酒鑑評会 金賞(6年連続受賞)
- ・平成25年 南部杜氏自醸清酒鑑評会 優等賞
- 63回連続優等賞(全国唯一桃川のみ)
- ・平成25年 青森県産清酒鑑評会 吟醸酒の部 優等賞(第二席)
- 純米酒の部 県知事賞

など、代表的なものを紹介させて頂きました。(詳しくはホームページを御覧ください。)

当社は、これからの日本の文化、伝統を大事にし、食文化の担い手として酒造りを継続していく所存でありますので、益々の御愛顧、御支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。